

のんびり育つ  
子どもと保護者のための

理学療法支援マップ



熊本県理学療法士協会

# ご挨拶

日ごろより熊本県理学療法士協会の活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。このたび、当協会分野別小委員会の小児分野から冊子を発刊するに際しまして、協会を代表し一言ご挨拶申し上げます。

社会の少子高齢化が急速に進むわが国では、2000年に介護保険制度が創設され、2010年度からは子供手当への支給が始まっています。これは、それまで家族の機能とされてきた高齢者、障害者の介護及び子供の養育を社会全体で支えていこうとする制度の導入にほかなりません。そのような時期に、子育ての支援を目的としたこの冊子を発刊できますことは、当協会としても大変喜ばしいことだと思っております。すべての子供が健やかにそして伸び伸びと育つことができる地域社会を創るため、ご両親をはじめ子育てに関わるすべての人が安心して活動できるために、この冊子が少しでもお役に立てたら幸いです。この冊子の編集には、日頃から子供の発達に関わる仕事をしている理学療法士の仲間があたりました。そのメンバーの熱い思いが、この冊子を手にとってくれた人に伝わり、子供の成長を見守る輪が少しずつ広がってゆくことを願っています。すべての子供にとって、明日が明るい日であります様に。

熊本県理学療法士協会

会長 北里堅二

# 目 次

- 1 . はじめの一步 . . . . . 1
- 2 . 子育てQ&A . . . . . 2
- 3 . 子育てアドバイス . . . . . 6
- 4 . 遊 び . . . . . 1 5
- 5 . 子育て体験談 . . . . . 1 9
- 6 . 小児科医師からのコメント . 2 4
- 7 . 理学療法支援マップ . . . . . 2 5
- 8 . 施設紹介 . . . . . 2 6

# 1 . はじめの一步

はじめまして。。。

この冊子を開いてくださって、ありがとうございます！  
わたくしたちは 理学療法士（りがくりょうほうし）と言います。病院や施設でリハビリテーションの仕事をしています。その中でも特に「お子さま」の発達に関わる事の多い理学療法士が集まり心をこめてこの冊子を作りました。わたくしたちの想いがどうか届きますように。

お母さん達を選んでこの世に生まれてきてくれた赤ちゃん。

本当に愛おしいですね。でも同時に不安もいっぱい・・・。

「発達が遅れてるんじゃないかしら？」

「なにかしてあげた方がいいのかな？それとも自然に追いつくのかな？」

「でもどこに相談すればいいのだろう

」「まわりに話すと心配するし」などなど、おひとりで悩んでいませんか？まずは一緒に話せる「専門職パートナー」を見つけませんか？お子さまの発達はさまざま。少しの応援も、気長な応援もその子に合わせて一人ひとり対応する時期も必要なんです。お子さまの成長を共に見つめていきましょう。そしてわたくしたち理学療法士も一緒に「育ちあい仲間」に参加させていただければ幸せです。

一緒に「はじめの一步」をふみ出しませんか？

分野別小委員会 小児分野代表

市原 里佳

## 2 . 子育て Q&A

子どもを育てていると、いろいろなことがあります。

楽しく元気になるようなことだったり、悩んだり落ち込んだりするようなことなど様々ですが、その一つの出来事が子どもと親を相互に育てているのではないのでしょうか。

『のんびり育つ子どもさん』も、楽しいことや大変なことがたくさんあると思います。その大変な時こそ一人で悩まず周りの人達に協力してもらいましょう。

ここでは、子育て中のお母さまからよくある質問とそのお答えを簡単にまとめてみました。さらに詳しく知りたいという場合は、25ページ以降の『理学療法支援マップ』に記載してある施設にご相談頂けたらと思います。

# お母さまひとりで悩まずに 理学療法士にご相談ください



Q1：子どものリハビリってどんな事をするのですか？

A：内容はお子さま一人ひとり異なりますが、基本的には遊びを中心に発達をはぐくんでいきます。

Q2：首すわりが遅いような気がします。だいたい何ヶ月くらいに座るのですか？

A：首がすわるきっかけは「ママのお顔をもっとみたい」といった赤ちゃんの思いです。体もたっぷりと大きくなってくる3～4ヶ月が目安です。



Q3：未熟児で生まれたので発達が遅いようです。何かしてあげた方が良いでしょうか？

A：必ずしも発達の全部の面が「のんびりさん」になっているわけではありません。見守る部分と応援する部分があります。あまり焦らずに、まずはお電話を。

Q 4 : よその子に比べて足が硬くぎこちないような気がします。病院に行った方がいいですか？

A : 足が硬い原因にもいろいろあります。心配がございましたら一度気軽にご相談下さい。

Q 5 : 6ヶ月になりますが、寝返りをしません。どうしたらいいですか？

A : 寝返りは赤ちゃんにとって、景色が変わっておもしろい動作の一つです。まずは楽しさを教えてあげるために、お母さまが寝返りをさせてあげるのもよい方法です。



Q 6 : 子どもがお座りをしません。気になるのですが・・・。

A : お座りのきっかけをつくったり、少しお手伝いをした方が良くときもあります。まずはご相談ください。



Q 7 : お座りを好み、寝かせると大泣きします。大丈夫でしょうか？

A : お座りは寝ているより視野が広がり、両手も使えて楽しいお遊びがたくさん出来ます。その事が分かったので、寝せられるのを嫌うのでしょうか。

**Q 8 : はいはいをしません。はいはいをしな  
いと、足腰が弱いと聞いたのですが？**

**A : 確かにはいはいという動作の中には、歩  
くために必要な動きがたくさんあります。  
はいはいをしたがらない理由は見つけて  
あげた方が良いでしょう。まずは  
ご相談ください。**



**Q 9 : 歩き方が気になります。かかどが浮いて、  
つま先歩きになります。病院に連れて行っ  
た方が良いですか？**

**A : 足に緊張がある場合がありますので、小児リ  
ハビリのある病院・施設を受診されてください。**



**Q 10 : よその子より力が弱いような気がし  
ます。**

**走っても転びやすいし、階段も危  
ない感じがします。**

**A : 力が弱いことにもいろいろな原因があり  
ます。心配がございましたら一度気軽  
にご相談下さい。**

## 3 . 子育てアドバイス

1 ) 抱っこについて

2 ) 接し方について

3 ) 生活補助具について

# 1) 抱っこについて

乳幼児期の子ども達にとって、抱っこは親子のスキンシップだけでなく、様々な発達を促す意味でとても大切なものです。抱っこしにくい子どもさんも、時々いらっしゃいますので、以下のことを参考にしてみてくださいはいかがでしょうか？

## 抱っこしにくい、理由を考えると？

体が硬くつぱった状態になる。  
力が弱くグラグラしていて、しがみつく力が弱い。  
力があって、動きすぎる。

これらの理由を意識しながら抱っこの仕方を工夫していきます。

## 注意してほしいことは？

体を包み込むようにしっかりと持ち、安定させましょう。

周囲からの刺激に敏感な赤ちゃんはバスタオルなどで包み込みましょう。

首のすわりが不十分な場合には、肩から包み込み頭を安定させましょう。

抱っこの例は、8～9ページの図のようにいくつかありますので、お子さまとお互い楽な方法を見つけるためにいろいろ試されるといいかと思います。

# 抱っこの仕方



ママの体に足をひろげる



ママが子どもの足を抱え、体にピッタリくっつける



ママの腕に子どもお尻をのせて向かい合わせで抱く



向かい合わせの抱っこから、たかいたかい



子どものお尻から足を抱えて、ママのお膝に座らせる



子どもの首から肩にかけて持ち、もう一方の手でお腹をかるく押さえるように  
(首が不安定な場合)



子どもの頭と背中を包み込むようにして、向かい合わせる



足にまたがらせ、ママのお腹に子どもの背中をピッタリつける



子どもはうつぶせで飛行機ブンブン

## 2) 接し方について

子どもの発達には、「子ども自らが育つ力」と「環境から影響を受けて育つ力」の二つの力を持っています。

発達がのんびりな子ども達は、このどちらにもお手伝いしてあげる必要があります。

ここでは普段の生活の中で、お母さまがお子さまに接する場合に意識してほしいことをまとめてみました。

お子さまが考えたり思っていることを分かってあげましょう。子どもは「聴いてほしい」「見てほしい」という気持ちをたくさん持っています。目と耳を傾けて下さい。きっとサインを出していますよ。

小さなことも一緒に喜びましょう。

つつい手伝いたくなりますが、子どもの行動を見守る・待つ事も大切です。

睡眠、食事、排泄、入浴など生活のリズムをつくりましょう。

気長に繰り返し、新しい動作や言葉を覚えやすくしましょう。

お話しするときはお子さまから見えやすいようにしましょう。

触られるのを嫌がる場合は、おそるおそるではなく手をしっかり握ったり、しっかり抱っこしたりしましょう。

お子さまが興味を持ち行動している時は、すぐに止めようとせず、危なくない程度で見守りましょう。

遊び方もいろいろです。多くの遊び方を経験する中で、子ども達はたくさんのお話を学び成長していきます。一人遊びも大切ですが、時間をつくって相手をしましょう。

### 3 ) 生活用具の工夫

ここでは、日常生活をお手伝いする道具の一部を紹介します。

すくいやすく、飲みやすくして食事をサポートします。



クリップ付きのお箸



くびの曲がるスプーン



すくいやすい特殊なお皿



カップ

# 100円ショップで買える 生活支援用具



クリップ付きのお箸



滑り止めマット



握りをサポート



くびの曲がったスプーン



えんぴつを持ちやすくサポート

かかとが床につかない、足首が柔らかいと  
いったお子さまの足をサポートします。



いろいろな種類の靴

安心した歩行をサポートします。



杖



歩行器

楽しいお散歩をサポートします。



市販のバギーにクッションやタオルを使用することで、お座りが安定します



バギー



車椅子

## 4 . 遊 び

遊びは、親子のスキンシップであり、発達を促していく為のとても大切な活動です。発達状況に応じて様々な遊び方があります。

お子さまと接する中で、お子さまが楽しめるものを探してみてください。でもお子さまはその瞬間、瞬間で遊びたいことが変わることも多いですので、集中力がないのでは・・・とすぐに思わないであげてください。

ここでは、乳幼児初期段階を以下の3つの時期に分けて、遊びをまとめています。

1 ) 0 ~ 6 ヶ月頃まで

2 ) 7 ~ 1 2 ヶ月頃まで

3 ) 1 ~ 2 歳頃まで

# 1) 0～6ヶ月頃までの遊び

## 0～6ヶ月頃までの発達特徴

生後何もできない状態から、心身共に急激に成長、発達してくる

自分自身の身体に気づいたり、周囲の親に気づく  
首がすわり、寝返り、お座りができる

手、足、体を自分の思うように動かし始める

見たり、聞いたりすることが上手になる

親のまねをしようとする（声や顔の表情など）

## 遊びの具体例

音と一緒に動くものや、光るものや、ゆれるものをよく見る

押したり、振ったりすると動いたり、音が出るもので遊ぶ

いないいないば～

くすぐり遊び

体をギュッと抱きしめる

子どもの声を親がまねる

膝上ピョンピョン



## 2) 7～12ヶ月頃の遊び

### 7～12ヶ月頃までの発達特徴

移動ができるようになり、周囲の様々なものに興味を持ち探索を行う時期

はいはい、たっち、伝い歩き、歩くなどができるようになり、行動範囲が広がる

指先の細かい遊びができる

声を良く出して、よく笑う、喃語をよく話す

声を出して、親へ要求を出してくる頃

人見知りが見られる時期

### 遊びの具体例

たかいたかい

立ちしてピョンピョン

かたかた（押し車）を押す

低い椅子や机によじ登る

物を落す

入っている物を引っ張り出す

狭いところに入る

紙破り

物を叩く、物と物を打ち合わせる

ペンでめちゃくちゃに書く

みたて遊び（お母さまが普段使用しているもので遊ぶ、台所用品、洗濯用品）

まねっこ：飲む振り、寝てるふり、親のはなすことばなどをまねる

「ちょうだい」と言うとき持っているものをくれる

テレビのスイッチを入れたり、切ったりする

声を出して、親の注意を引く

一人で、ムニヤムニヤしゃべる

ほめられると同じことを繰り返す



## 3) 1 ~ 2 歳頃の遊び

### 1 ~ 2 歳の発達特徴

- 昇る、降りる、走る、ジャンプなどよりダイナミックな活動をする
- 公園の遊具を使った遊びができる
- オモチャやペン、はさみ、のりなどの道具を使って遊ぶ
- 友達を意識した遊びができる
- 自己主張が出てくる
- ごっこ遊びをする
- 自分の体や周囲のものの名称がわかる
- 「わんわん、きた」など2語文を使った会話が徐々にできる

### 遊びの具体例

おいかけごっこ

ボール遊び

体操をまねてリズムをとる

ジャンプする、飛び降りる

公園の遊具や砂場で遊ぶ（すべり台、ブランコ）

積み木遊び（積んで壊す）

はさみ、のりを使って遊ぶ

お絵かき（ が書ける）

みたて遊び（台所用品や洗濯用品などお母さんが普段使用しているもので遊ぶ）

お名前呼び：名前を呼ばれると「ハイ」と返事をする

動物を見て「ワンワン」「ニャーニャー」と言う

よく話す

鏡遊び（鏡に映った自分に興味を持つ）

友達とオモチャの取り合い



## 5 . 子育て体験談

ママ談 その1

その2

その3

## 【ママ談 1】

うちの娘は今、三歳です。水頭症と二分脊椎という病名です。

産まれてすぐにNICUに入り、その後手術をして約4ヶ月入院しました。退院後は、定期的な外来と診察とリハビリへ週一回通っています。

娘は両下肢に麻痺があります。『まずは動くところからの訓練を』という事で紹介されました。最初は不安だらけでした。

でも何回か通っていると、いろいろな方と出会い、お互いの子どもの病気のことを話したり、情報交換ができたりと少しずつ気持ちが高な方に変わっていったのを覚えています。訓練では、この子が持っている能力を引き出せるようにと先生も根気よく娘と向かい合ってくれています。訓練に通って3年が過ぎました。その間にいろいろな時期もありましたが、今では笑顔で受けられるようになりました。何でもゆっくりのペースですが、目標を達成した時の喜びはとても大きいです。これからもこの子のペースを大事にしながら歩いていけたらと思います。

## 【ママ談 2】

理学療法士の先生方にお世話になりながら、娘はリハビリを頑張っています。立って歩くために必要な手足のストレッチや筋肉の柔軟性など、リハビリを終わって家に帰ると何かしら娘の身体の働きが良くなり、何かを学んでいるみたいだと感じる事がよくあります。今は自分で立ち歩くことが目標です。

そんな娘も2年半前、妊娠32週の時、胎児水腫で心拍低下気味とのことで緊急の帝王切開にて生まれてきました。しかしその後、生後2日目には鹿児島島のNICUへと運ばれ、およそ100日間、離ればなれの生活となりました。その後、気管切開と胃瘻造設などの手術を受けた後、熊本のNICUに再び戻り、1歳4ヶ月まで入院生活が続きました。

NICUに入院中の娘の見舞いに通う中で、寝返りやお座りなど全くしない様子を見て、入院という制限があるからではないかとずいぶん心配したり、焦ったりした時期もありました。そんなとき、理学療法士や言語聴覚士の先生と出会い、専門的な立場でのアドバイスを受け、ゆっくり娘のペースで成長するのを見守る大切さを学びました。先生方の訓練を受けながら、今ではお座りがしっかり出来るようになるなど、少しずつ『出来る』ことが増え、ゆったりとした気持ちで娘の成長を喜ぶことができるようになりました。娘にはまだまだ乗り越えるべき課題がたくさんあるので、もうしばらく目標に向けて、楽しみながら訓練に通うことになりそうです。今後ともよろしく願いいたします。

## 【ママ談 3】

平成19年の夏、予定より3ヶ月半も早く、在胎24週2日で産まれた次女は、体重わずか559gの小さな女の子でした。お腹にいる間、赤ちゃんはお母さんから栄養をもらいながら少しずつ身体の様々な部分が作られていくのですが、こんなに早く産まれてしまったら身体はまだ未完成です。

小さな娘は保育器の中で、呼吸器や点滴など、たくさん管につながれて身動きもままならない状態でしたが、命を守ることを第一に、少しずつ成長していきました。

そして、半年後退院し、ようやく家族5人での生活が始まりました。それからは、修正月齢と実際の月齢を時と場合に応じて使い分けて考える毎日です。

修正2ヶ月半、3700gで退院した娘が成長して出来ることが増えていくのはとても嬉しいです。体重の増えや身長の伸びを表す発達曲線の、はるか下を

ゆっくりと、それでもきちんと右上がりに進んでいるので、いつか枠内に入ることを楽しみに待っている状態です。

1歳児検診の時（修正9ヶ月半）、そろそろハイハイをし始めそうな頃、主治医の先生からリハビリについての話がありました。娘のように、お腹の中で十分に運動をせずに産まれた場合、また保育器の中でじっとしていたので、足や手を動かそうとする脳の指令が上手くいかず、スムーズな動きが出来な場合がある。そこで、理学療法士の先生に診てもらいながら、スムーズな手足の動きを促す訓練をしたらどうか、とのことでした。

そして、週1回のリハビリに通う日が始まりました。リハビリというと、体育館のような部屋にいろいろな機械や器具があり、先生に手足を動かしてもらったりしながら訓練していく、というイメージでしたが、小児リハビリは、こぢんまりとしていて、先生とおもちゃで遊ぶという非常に楽しいものでした。

## 【ママ談 3】つづき

遊びながら手足の動きを見ていただき、弱いポイントを使えるようなおもちゃを選び、リハビリしていきます。

そして、家での遊び方の指導を受け、その成果を確かめていく…という流れです。それまで、こどものおもちゃは、頂き物であったり、好きなキャラクターのものであったりとあまり考えずに与えていましたが、目線を変えてみると、おもちゃ選びは奥深くてとても楽しいものになりました。娘の場合は、2歳上の兄と9歳上の姉がいますので、良い刺激になり動きも随分活発になりました。

とはいえ、具合が悪くリハビリに行けずに間が空いたときや、ちょうど機嫌が悪いときなどは、先生と部屋に慣れることからはじめ、帰る頃に調子がでてくることもよくあります。その時は、好きなおもちゃを出してゆっくり遊びながら、発達の聞き取り調査をしていただくこともあります。手足の動きだけではなく、言語、知育、社会性など生活全般にわたる発達の程度をみていただけます。また、気管支や肺が弱い娘には、呼吸が苦しいときの対処法などもアドバイスいただいたので、とても助かりましたし、親としてもいろいろ勉強できました。

正直言って、退院後は割とスムーズに発達していたのでリハビリは不要かも？と思う事もありましたが、今まで一年近く通ってきてみて、閉じこもりが

ちな子育ての中親子でリフレッシュ出来るし、リハビリ後は娘の動きが特に活発になっているのを感じます。こうした目に見える効果はもちろん嬉しいのですが、何よりも、いつでも娘の発達についての心配事などをプロの先生に相談できるので、本当に行って良かったと思います。今よちよち歩き始め、あと少しでリハビリ卒業予定です。

それまでの間、どうぞ宜しくお願い致します。

## 6 . 小児科の先生より

『児理学療法は発達ケア・子育て支援』

「退院おめでとうございます。」と私たちNICUスタッフは言います。しかし、ご両親にとって24時間一緒の生活は、喜ばしくはあるのですが、それ以上に不安の始まりかもしれません。泣いてばかりで寝てくれない、しっかり飲んでくれないなど不安に思われることもあるでしょう。こんな保護者の皆さんに、小児理学療法が手を差し伸べてくれます。

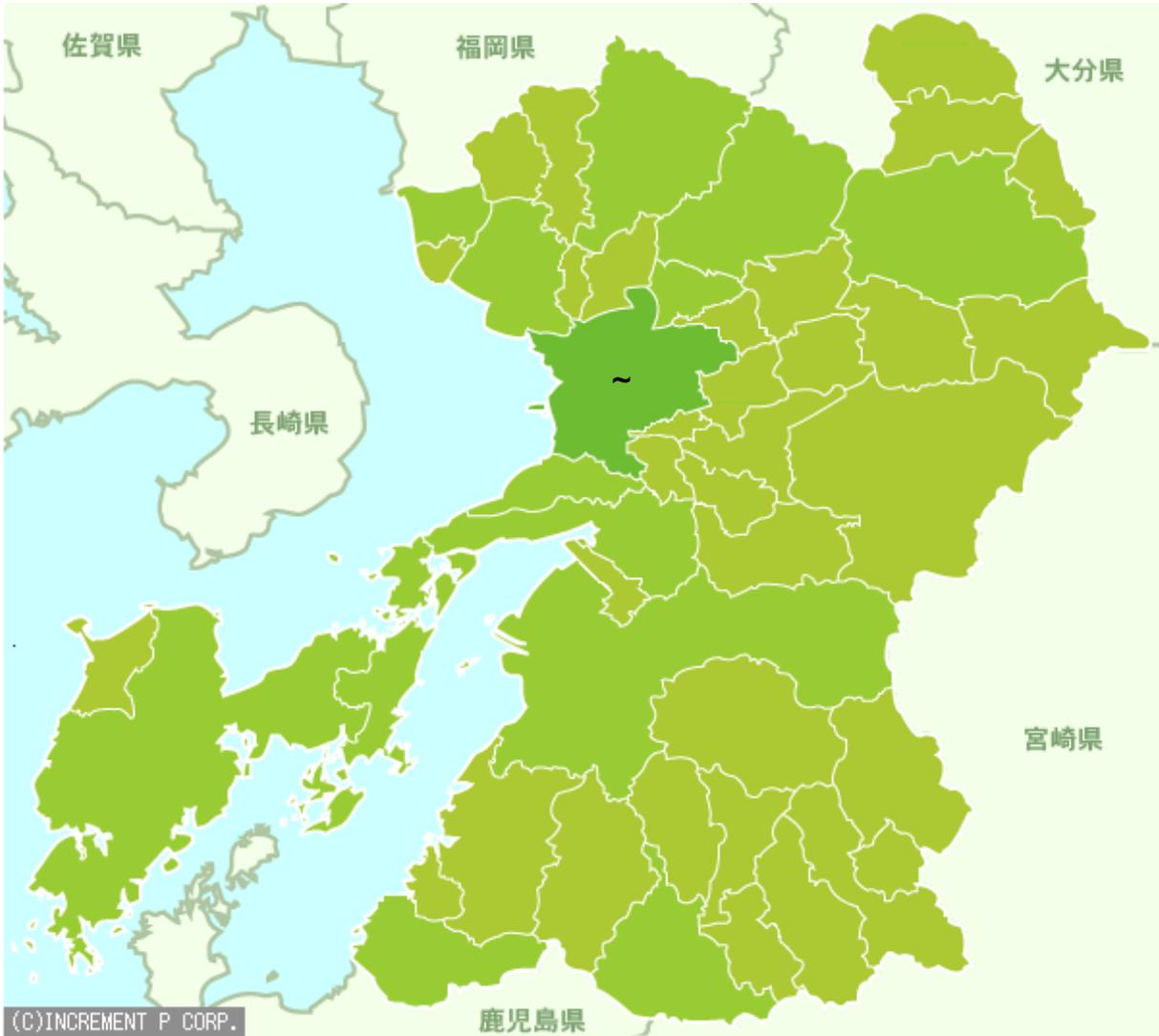
理学療法は、骨折や脳卒中のあとのリハビリテーションというイメージがあります。小児科医である私も、以前は体が硬いお子さんのためと思っていました。今の、小児理学療法は、抱き方、飲ませ方、遊びなどから入っていきます。成人のリハビリは、これまでできていたことに復帰することが目標ですが、小児理学療法は、できていなかったことができるようになる「発達ケア」であり、それが「子育て」そのものです。NICUから退院された子どもさんたちが、理学療法を受けられると、みなさん明るくなります。抱っこしたときに、子どもさんが落ち着いてくれるようになるからです。

この「理学療法支援マップ」は、地図の上に専門の施設の場所を示したまさにマップですが、新しい一員が増えた家族への子育て支援の道案内です。

NICUの病棟は、器械が多く緊張の連続でした。小児の理学療法のドアを一度たたいてみてください。そこは、リラックスできる場です。小児科からの情報も届いた方が良いでしょう。保護者の方が行ってみたいと思われたら、遠慮なくお申し出ください。

熊本市民病院 新生児科  
近藤 裕一

# 7 . 理学療法支援MAP



熊本市内



# 8 . 施設紹介

( 小児の理学療法を実施している施設 )

## 1 ) 熊本北部地域 ( 有明・鹿本 )

有明成仁病院 ( 長洲町 )

山鹿温泉リハビリテーション病院 ( 山鹿市 )

## 2 ) 熊本中央地域 ( 熊本市、宇城、上益城、菊池、阿蘇 )

国立病院機構 熊本再春荘病院 ( 合志市 )

熊本市リハビリテーション病院 ( 菊陽町 )

おがた小児科内科医院 ( 熊本市 )

医療法人 朝日野会 朝日野総合病院 ( 熊本市 )

財団法人 杏仁会 江南病院 ( 熊本市 )

熊本市子ども発達支援センター ( 熊本市 )

熊本市立熊本市民病院 ( 熊本市 )

熊本託麻台病院 ( 熊本市 )

くまもと江津湖療育医療センター ( 熊本市 )

医療法人桜十字 桜十字病院 ( 熊本市 )

熊本県こども総合療育センター ( 松橋町 )

## 3 ) 熊本県南地域 ( 八代、芦北、球磨 )

くまもと芦北療育医療センター ( 芦北町 )

## 4 ) 天草地域 ( 天草 )

天草慈恵病院 ( 苓北町 )

はまゆう療育園 ( 苓北町 )

## 1) 熊本北部地域（有明・鹿本）

### 有明成仁病院

〒869-0101 熊本県玉名郡長洲町宮野2775  
TEL:0968-78-1133

最初に受診する診療科目：小児科（木・土の午後以外、第3土曜は午後も可）

最初に相談する窓口：なし（受付）

理学療法以外のリハビリ：作業療法 言語聴覚療法

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書、装具・車椅子申請書、  
座位保持装置申請書、特別児童手当、障害者年金

利用されている方：脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 自閉症

広汎性発達障害 整形外科疾患 脳外傷 筋疾患、様々な障害を持つ子ども全般

特記事項：紹介状は不要、電話にて小児科受診の予約が必要。車椅子や座位保持椅子  
の作成も可。個別リハに加え、学校や園を訪問し教諭と情報交換を密に行ないなが  
ら、地域全体で子どもたちやそのご家族をサポートしていくよう取り組んでいる。

また、茶話会や行事を通して、お母さん同士の繋がりも築いていけるよう働きか  
けを行なっている。

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根有り 広い

ホームページあり

### 山鹿温泉リハビリテーション病院

〒861-0514 熊本県山鹿市新町1204  
TEL: 0968-43-4151

最初に受診する診療科目：リハビリテーション科（月は午前のみ、火・金）

最初に相談する窓口：担当 松見美咲子（相談員；鹿本地域療育センター）

理学療法以外のリハビリ：作業療法 言語聴覚療法 臨床心理

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書、  
装具・車椅子申請書、座位保持装置申請書

利用されている方：脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 自閉症

広汎性発達障害 整形外科疾患 脳外傷 筋疾患、様々な障害を持つ子ども全般

特記事項：

当院利用に関する内容（診察・検査・専門職による各種療法含む）及び療育支援内容  
等については、鹿本地域療育センター（0968-44-2244、相談員：松見）へ

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根無し 狭い

ホームページあり

## 2) 熊本中央地域（熊本市、宇城、上益城、菊池、阿蘇）

### 国立病院機構 熊本再春荘病院

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659  
TEL:096-242-1000（代表）

最初に受診する診療科目：小児科（木曜日 午後）

最初に相談する窓口：小児科（担当：島津智之Dr）

理学療法以外のリハビリ：作業療法

リハビリの内容：個別リハビリ（入院のみ）

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、  
座位保持装置申請書 作成可能

利用されている方：脳性麻痺

特記事項：

外来リハビリはありません（全ての診療科）。手帳・装具関係申請書作成は当院かかりつけの患者様に限って実施しています。

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根有り 広い

ホームページあり

### 熊本リハビリテーション病院

〒869-1106 菊池郡菊陽町曲手760  
TEL:096-232-3111

最初に受診する診療科目：整形外科（機能障害改善科）

診察曜日：電話にて直接連絡いただければ日程を決定します。

メールも可。 E-mail：k-ikeda@krh.marutakai.or.jp

最初に相談する窓口：整形外科（機能障害改善科）担当：池田啓一Dr

理学療法以外のリハビリ：作業療法

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、  
座位保持装置申請書 特児手当、特障手当、年金診断書など

利用されている方：脳性麻痺 運動発達遅滞 整形外科疾患

特記事項：

当院では担当となるDrが整形外科医であり、整形外科的選択的痙性コントロール手術（OSSCS）希望、または術後の方を中心にリハを行っております。

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根なし 狭い

ホームページあり

## おがた小児科内科医院

〒861-5514 熊本市飛田町3丁目9-12  
TEL:096-344-8282

最初に受診する診療科目： 在宅訪問診療（水曜日午後） 小児科（月～土曜日）  
最初に相談する窓口： 理学療法士（担当：上原恵理奈）  
理学療法以外のリハビリ： 作業療法  
リハビリの内容： 訪問リハビリのみ  
手帳・装具関係： なし  
利用されている方： 呼吸器使用されている方々  
特記事項：  
外来リハビリはなく、在宅訪問リハで呼吸リハを中心に行っています。  
主治医より紹介状（訪問リハ依頼書または診療情報提供書）が必ず必要。  
リハ開始後、1ヶ月一回主治医からの診療情報提供書が必要となります。  
在宅訪問のため、外来リハに通えないなど外出が困難な方に限ります。  
駐車場： 無料 正面玄関に近い  
正面玄関前： 屋根なし  
ホームページあり

## 医療法人 朝日野会 朝日野総合病院

〒861-8072 熊本市室園町12-10  
TEL:096-344-3000 FAX:096-343-7570

最初に受診する診療科目： 内科： 随時 小児科： 随時  
最初に相談する窓口： 総合リハビリテーションセンター  
言語聴覚士（担当：村上）  
理学療法以外のリハビリ： 言語聴覚療法  
リハビリの内容： 個別リハビリ  
手帳・装具関係： なし  
利用されている方： 脳性麻痺 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 広汎性発達障害  
特記事項： 必ず診断書と情報提供書が必要。その後当院医師の受診後リハ開始。  
診断と定期診察については、紹介元的主治医の所で実施され、当院ではリハビリのみを提供。  
[ 家族より電話 ] [ ST甲斐：相談など何度かやり取りを行い診察日を決定 ]  
[ 当院にて面談 ] [ 小児科受診 ] [ 処方箋 ] [ 評価・訓練開始 ]  
駐車場： 無料 正面玄関に近い  
正面玄関前： 屋根なし 広い  
ホームページあり

## 財団法人 杏仁会 江南病院

〒862-0970 熊本市渡鹿5-1-37  
TEL: 096-366-7125

最初に受診する診療科目：

整形外科（内賀嶋英明・院長）：火・水・土の午前中 小児科  
最初に相談する窓口：リハビリテーション科 理学療法士（担当：市原里佳）  
理学療法以外のリハビリ：作業療法 言語聴覚療法  
リハビリの内容：個別リハビリ（必要に応じ複数の療法士にて対応）  
手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、座位保持装置申請書  
利用されている方：脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞  
自閉症 広汎性発達障害 整形外科疾患 筋疾患  
様々な障害を持つ子ども全般

特記事項：必ず前院からの紹介状が必要。また、お子様の対応人数に限りがあります。  
診察のご予約の前に、必ず窓口担当スタッフにお電話が必要です。

駐車場：無料 正面玄関に近い  
正面玄関前：屋根有り 広い  
ホームページあり

## 熊本市子ども発達支援センター

〒862-0971 熊本市大江5-1-1  
TEL: 096-366-8240

相談時間 平日8：30～17：15 土曜日(電話相談のみ)8：30～17：15

最初に相談する窓口：子ども発達支援センター（担当：全職員）

理学療法以外のリハビリ：なし

リハビリ内容：リハビリはなく相談のみ

手帳・装具関係：

身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書（受付）、特別児童扶養手当認定診断書、  
児童デイサービス利用・保育園の加配等の意見書 各種診断書等 作成可能

利用されている方：熊本市にお住まいの0～18歳までの子ども、またはその保護者

特記事項：熊本市の相談機関です。電話相談・面接相談・療育活動・訪問支援・医学  
相談などを行っています（各職種の個別訓練などは行っていません）。利用に  
関しては予約制で、原則18歳以下の方を対象としています（熊本市に在住の方）。  
駐車場は利用者は無料。スタッフは医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、  
臨床心理士、保健師、看護師、保育士、教育支援相談員等

駐車場：無料 正面玄関に近い  
正面玄関前：屋根有り 広い  
ホームページあり

## 熊本市立熊本市民病院

〒862-0909 熊本市湖東1-1-60  
TEL: 096-365-1711

最初に受診する診療科目：なし

最初に相談する窓口：なし

理学療法以外のリハビリ：なし

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書 作成可能

利用されている方：運動発達遅滞 脳外傷 筋疾患 様々な障害を持つ子ども全般

特記事項：

当院では外来リハは実施しておりません。

基本的にNICU、小児科へ入院している患者様が対象です。

駐車場：有料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根有り 広い

ホームページあり

## 熊本託麻台病院

〒862-0913 熊本市尾ノ上1丁目14-27  
TEL: 096-381-5111

最初に受診する診療科目：リハビリテーション科（月・水・木・金）

最初に相談する窓口：外来（看護師）

理学療法以外のリハビリ：作業療法

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、  
座位保持装置申請書 特別児童扶養手当（肢体不自由用）

書類作成は当院小児リハを受けてられる方が対象。

利用されている方：脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞  
整形外科疾患 筋疾患

特記事項：事前予約、紹介状必要。リハビリテーション科の診察を受け、当院小児  
リハの対象と判断されてからリハが開始されます。

特に就園・就学前の軽度～中等度の運動発達の遅れや肢体不自由の方多い。

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根有り 広い

ホームページあり

## くまもと江津湖療育医療センター

〒 862-0947 熊本市熊本市画図町重富575  
TEL: 096-370-0501

最初に受診する診療科目：小児科（初診は火木金；リハの希望内容により変更有り）

最初に相談する窓口：事務部医事係（その日の外来受付担当者）

理学療法以外のリハビリ：作業療法 言語聴覚療法 摂食機能療法

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書、装具・車椅子申請書、  
座位保持装置申請書 ただし、手帳申請のみは不可

利用されている方：脳性麻痺 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞

特記事項：

事前予約必ず必要。紹介状必要。重症心身障害児（者）を中心に実施しています。

駐車場：無料 正面玄関に近い

正面玄関前：屋根有り 狭い

ホームページあり

## 医療法人桜十字 桜十字病院

〒 861-4173 熊本市御幸木部1-1-1  
TEL: 096-378-1111

最初に受診する診療科目：小児科外来（入部兼繁Dr）

最初に相談する窓口：小児科外来（月・火AM・水PM・木・金）

理学療法以外のリハビリ：作業療法 言語聴覚療法 摂食機能療法

リハビリの内容：個別リハビリ

手帳・装具関係：身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書 作成可能

利用されている方：脳性まひ 精神・運動発達遅滞 言語発達遅滞 摂食機能障害

特記事項：事前予約必要 紹介状必要

駐車場：無料 正面玄関に遠い

正面玄関前：屋根有り 広い

ホームページあり

## 熊本県こども総合療育センター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福2900  
TEL: 0964-32-1143

最初に受診する診療科目： 整形外科（月・水・金） 小児科（月・水・金）

最初に相談する窓口： 療育部

理学療法以外のリハビリ： 作業療法 言語聴覚療法 臨床心理

リハビリの内容： 個別リハビリ

手帳・装具関係：

身体障害者手帳申請書、療育手帳申請書、装具・車椅子申請書、座位保持装置申請書  
利用されている方：

脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 自閉症 広汎性発達障害

整形外科疾患 脳外傷 筋疾患 様々な障害を持つ子ども全般

特記事項： 原則予約制（予約なしの場合は待ち時間が著しく長くなります。）

小児科は時刻予約制。整形外科は日付のみ予約制（当日受付順）。

診察予約専用電話番号（0964-32-1145：火曜日以外の14：00～17：00）

駐車場： 無料 正面玄関に近い

正面玄関前： 屋根有り 広い

ホームページあり



### 3 ) 熊本県南地域 ( 八代、芦北、球磨 )

#### くまもと芦北療育医療センター

〒869-5561 葦北郡芦北町芦北2813

TEL: 0966-82-2431

最初に受診する診療科目： 小児科 ( 月・火・水・木・金 : 要予約 )  
歯科 ( 月・木 : 要予約 )

最初に相談する窓口： 外来看護師 ( 担当者 : 三道・福島 )

理学療法以外のリハビリ：

作業療法・言語聴覚療法・臨床心理・水中機能療法・発達検査

リハビリの内容： 個別リハビリ

手帳・装具関係： 身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、座位保持装置申請書

利用されている方： 脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 自閉症

広汎性発達障害 整形外科疾患 筋疾患 様々な障害を持つ子ども全般

特記事項： 詳しくは、ホームページを参照下さい。

駐車場： 無料 外来玄関に近い

正面玄関前： 屋根なし 狭い

ホームページあり



## 4) 天草地域 (天草)

### 天草慈恵病院

〒863-2502 天草郡苓北町上津深江278-10  
TEL: 0969-37-1111

最初に受診する診療科目： 整形外科 (月～土)  
最初に相談する窓口： リハビリ室 (担当： 園田 寛)  
理学療法以外のリハビリ： 作業療法 言語聴覚療法  
リハビリの内容： 個別リハビリ  
手帳・装具関係： 身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、作成可能  
利用されている方： 脳性麻痺 整形外科疾患  
特記事項： 当院では整形的フォロー時や、必要時に対応しています。  
駐車場： 無料 正面玄関に近い  
正面玄関前： 屋根なし 広い  
ホームページあり

### はまゆう療育園

〒863-2503 天草郡苓北町志岐1059番地  
TEL: 0969-35-1258

最初に受診する診療科目： 小児科・内科  
最初に相談する窓口： 事務  
理学療法以外のリハビリ： 作業療法・言語聴覚療法  
リハビリの内容： 個別リハビリ  
手帳・装具関係： 身体障害者手帳申請書、装具・車椅子申請書、座位保持装置申請書  
利用されている方： 脳性麻痺 ダウン症 運動発達遅滞 精神運動発達遅滞 自閉症  
広汎性発達障害 様々な障害を持つ子ども全般  
特記事項： 入園者のみ 詳しくは、ホームページを参照下さい。  
但し、ショートステイ、日中一時支援受け入れあり。(リハビリは含まず)  
在宅支援事業は、関連施設 第2はまゆう療育園で実施しています。  
第2はまゆう療育園  
〒863-0033 天草市東町28-20 TEL: 0969-22-6864  
駐車場： 無料 正面玄関に近い  
正面玄関前： 屋根なし 狭い  
ホームページあり

## 9 ) 編集後記

熊本の小児理学療法を実践している先生方と、「熊本小児療育ネットワーク（理学療法版）を作りたいね」と長い間会議等で顔を合わせる度に言ってきました。この小冊子は、そういう意味において、熊本で地道に頑張っている小児理学療法に携わる先生方の様々な思いが詰まった一冊です。今後、この支援マニュアルを出発点として、熊本小児療育ネットワークがさらに発展して行くことを期待しています。

最後になりましたが、この支援マップ作成に当たって、ご協力いただきました、各療育機関の先生方、そして子育てで奮闘しているお母さま達、誠にありがとうございました。また、県協会北里会長をはじめ理事の先生方には、ご指導、ご助言をいただきありがとうございました。

そして、小児委員会の皆様には、最後まで根気強く編集作業にご協力頂き心より感謝申し上げます。

平成 22 年 12 月 31 日

編集代表 浪本正晴

# 編集委員

## 編集代表

市原 里佳：江南病院  
浪本 正晴：九州中央リハビリテーション学院

## 編集委員

有馬 正英：熊本市子ども発達支援センター  
上原 恵理奈：おがた小児科内科病院  
梶山 真紀：熊本託麻台病院  
河原 朋子：桜十字病院  
藤本 茂雄：熊本託麻台病院  
松本 浩二：熊本県こども総合療育センター  
山本 博子：熊本リハビリテーション学院